



KIMOTO REPORT

KIMOTOファンの皆様へお届けする最新情報

証券コード：7908

2024.11

トップメッセージ

2025年3月期第2四半期(中間期)の業績について

本年7月1日に埼玉県さいたま市から三重県いなべ市へ本店を移転いたしました。おかげさまで、現在も企業活動に支障なく取り組んでおりますことをご報告申し上げます。

2025年3月期第2四半期(中間期)は対前期比で増収増益の結果となりました。

売上増加の主な要因は、フィルム事業における自動車や通信機器向けの高付加価値製品が引き続き堅調に推移し、利益に貢献したことです。さらに、新たに取り組んでいるEV(電気自動車)バッテリー向け部材や半導体製造工程用製品も順調に推移いたしました。

デジタルツイン事業については、BIM/CIMモデル作成のお客様での内製化が進むにつれ、建設業界での既存作業の受注は足踏み状態にありますが、この決算期において製造業DXに関するコンサルティングの受注を実現いたしました。製造業の皆様へ、同じく製造業であり、工場DXを経験したKIMOTOだからできるサービスを今後も日本だけでなく、海外へも展開していきます。私達は働き方改革、製造業DXの相乗効果で皆さまのDX推進に貢献してまいります。

また、フィルム事業では海外の展示会への参加、デジタルツイン事業ではゼネコンや建設コンサルタント向けの説明会を開催しております。引き続き当社の技術や製品の魅力を積極的に発信し、売上拡大や新たなビジネスチャンスの場を広げてまいります。

技術本部については、アウトプット(開発品の製品化数)4倍を目指し、場所にとらわれない効率的な開発体制へ向け、製品開発のワークフロー改革が着実に進んでおります。8月末には埼玉技術開発センターから三重工場へのフィルム製品開発用の試験機器移設が完了し

代表取締役社長

小林 正一



ました。今後も、新製品開発と製造における技術的な改革を継続し、生産性の向上を図ることで、高品質・高付加価値製品の売上に貢献してまいります。

KIMOTOファームでは、今年から「実りの百年米」が生まれ変わりました。有機JAS認証を目指し、苗作りから農薬・化学肥料を一切使用せずに自分たちの手で一から育て上げたお米は、美味しさを示す食味値が過去最高の92点となりました。是非多くの皆様にお楽しみいただけますと幸いです。6年目を迎えるKIMOTOダリア園は今年も9月に開園し、遠方から足を運んでくださるリピーターの方々が増えております。今後も地域の皆様と共生共栄となるよう活動を行ってまいります。

KIMOTOファンの皆様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト

(単位:百万円)

連結業績	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期(予想)
売上高	5,826	9,623	4,618	9,910	5,776	10,900
営業利益	411	△626	△109	214	814	1,000
経常利益	546	△512	7	408	768	980
親会社株主に 帰属する当期純利益	405	△567	△1	335	627	720
総資産	—	21,560	—	22,599	22,845	—
純資産	—	17,693	—	18,156	18,635	—
1株あたり配当(円)	中間 3	期末 3	中間 3	期末 3	中間 3	期末(予想) 3

POINT

- 東アジアを中心として通信機器の需要が増加傾向となり、加えて新規モデルへの採用などにより遮光、粘着フィルムの販売が増加し貢献。
- 新たに取り組んでいるEVバッテリー向け製品、半導体製造工程用製品が堅調。
- 高付加価値製品の販売強化、継続的な低収益品の統合及び生産業務効率化による製造原価低減に努め、高収益製品の販売が増加し増益。

> Webアンケート結果のご報告

KIMOTO REPORT 2024.5号にてご案内いたしましたWebアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様からいただいた貴重なご意見・ご要望は、今後の企業活動の参考にさせていただきます。アンケートの結果につきましては当社HPにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。

アンケート
結果は
こちらから



<https://www.kimoto.co.jp/investor>

本店を移転しました！【三重工場のご紹介】

当社は、100年継続に向けた更なる体制強化のため、7月1日に本店を埼玉から三重へ移転しました。

本店の所在地となった三重工場は1979年に、自然豊かな環境を活かした「工場公園」をコンセプトに、地域社会に溶け込む工場を目指して建設され、以来、長年にわたり地域との繋がりを大切にしてきました。



A 第一工場

製造 各種工業材料
開発 信頼性試験、実験

B 第二工場

製造 粘着、拡散、ハードコート
開発 分析、測定

C 第三工場

物流 物流

D 第四工場

製造 遮光、ハードコート、拡散

第二、第四工場では当社の主力製品を製造しています。特に、第四工場は微細粒子を極限まで抑えたクリーン基準で管理され、製造ラインからのカメラによる検品や特殊検査員による目視点検など、徹底した品質管理が行われています。

また、本店移転に伴い、技術開発を埼玉から主力生産拠点である三重工場に集約しました。これにより、製品開発と生産の迅速化を図ってまいります。

当社ホームページにて製品、KIMOTOファームの情報をご覧いただけます。



フィルム
製品情報



E きもとグラウンド

毎年、少年野球大会「KIMOTO杯」を開催。子供たちの熱戦に地域の皆様も大盛り上がりです。

KIMOTOファーム

地域との共存共栄を掲げ2011年よりプロジェクトがスタート。休耕中となった農地をお借りしてお米づくりやダリアを栽培しています。

F KIMOTOダリア園

毎年、秋に無料開放しております。様々な種類のダリアが咲き誇り、多くの方に楽しんでいただいています。(今年は10月31日に閉園)

G 田んぼ

2011年から栽培を始めた「実りの百年米」は今年から有機栽培に挑戦し有機JAS認証を目指します。

H きもとハウス

空き家となった古民家をリノベーションした従業員宿泊施設です。

会社情報・株式情報 (2024年9月30日現在)

● 会社概要

名称 株式会社 きもと
設立 1961年2月9日
従業員 446名(連結) / 368名(単体)

● 株式の状況

発行可能株式総数 90,000,000株
発行済株式の総数 54,772,564株
株主総数 10,485名



www.kimoto.co.jp

KIMOTO

〒511-0411 三重県いなべ市北勢町京ヶ野新田450
TEL : 050-3154-9000 FAX : 03-5480-8121



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C022915